

病診 連携 NEWS



公益社団法人日本海員救済会
名古屋救済会病院

2021.1

医療連携室

052-652-7954



副院長就任のご挨拶

副院長・呼吸器内科部長 島 浩一郎

このたび名古屋救済会病院副院長を拝命いたしました、呼吸器内科の島浩一郎と申します。

昭和60年に名古屋第二赤十字病院で医師への道を踏み出し、県立愛知病院、名古屋大学などでの研究生生活を経て、平成8年より当院にお世話になっております。

当時の助教授に付き添われて、現在の食堂の上にあります院長室で坂先生にご挨拶させていただきましたのが、昨日のことのようでもあります。第一印象は、前にファスナーがついた妙な白衣だなどというのと、こんな大通りから離れてバス停もない、町工場の中にある病院に患者さんが来るのかしら？ということでした。

それから、この世に生まれてから医者になるまでより長い、25年間を当院で過ごさせて頂き、1月には還暦を迎えます。この人生の転機に、新たな職場で一呼吸器科医として、もう一回やり直してみようと再就職先を物色しておりましたが、河野院長より副院長として当院に残るようお願いをいただきました。置かれた場所でお話をお聞きいただき、新しい気持ちで取り組んでいきたいと考えています。

当院は救急医療を中心に据えて最前線の医療を担ってきたことから、救急の現場で各科が協力し合いながら治療にあたっていく、風通しのよさが魅力だと思います。

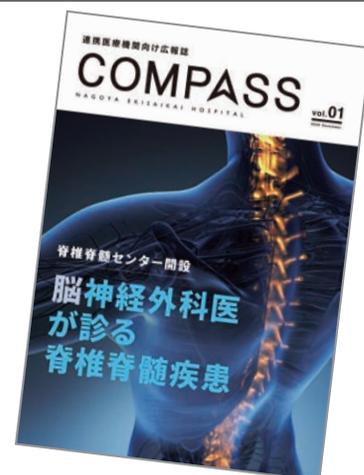
これからも、職員が自分の家族や友人の治療をここで受けさせたいと思える病院、自分は救済会病院で働いていますと胸を張れるような病院、上が考えていることを職員の皆様の誰もが、そして近隣の医療機関の皆様が理解して下さっているような、透明性のある病院であるよう、微力ながら努力いたします。

ドラゴンズと鶴舞図書館が大好きな平々凡々な人間ですが、何があっても明るく、元気に、楽しく、取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。



COMPASS 創刊

医療連携機関向け広報誌、COMPASSが創刊されました。記念すべき第1号は、脊椎脊髄センター開設にあたり、『脳神経外科医が診る脊椎脊髄疾患』となっております。今後も定期的にお届けいたします！



ハイブリッドER新設しました

12月にハイブリッドERシステムを新設しました。初診室の同一室内で、CT撮影とカテーテル検査を行なうことが可能となり、患者さんは別の部屋に移動することなく、カテーテル検査や手術が迅速に行えるようになります。

